

令和3年度【英語】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1年生	<p>①口語でのコミュニケーションは80%以上の生徒ができるが、書き取りに対する消極さが目立つ。</p> <p>②英語を読む力が弱い。</p> <p>③10行程程度の長さの英語の会話文を読んで意味を理解しようとする力が身につけていない生徒が多い。</p> <p>④英語の音のルールに慣れていない。</p>	<p>①書き取りの宿題を意識的に出し、単語を正しく書く意識を高めさせて英語を書くことへの抵抗をなくさせる。</p> <p>②デジタル教科書を使って、授業内や家庭で音読練習を十分させる。また、レッスン毎に音読テストを設けて意識させる。</p> <p>③簡単な読み物教材などを使い、定期的に10～15行程程度の長さの読みものに触れる機会を作り、確認する。</p> <p>④フォニックス・ルールを適宜入れ、簡単な英語の音のルールを学ばせる。</p>	
2年生	<p>①英語を聞き、絵や写真等を手がかりに意味を理解し、内容に関する質問に簡単な英語で答えることができる。より正確な英文で答えることに課題がある。</p> <p>②単文での応答はできるが、その後継続することが苦手な生徒が多い。</p> <p>③英語を読む力が弱い。</p> <p>④語句のスプリングを見て、意味を理解したり、既習の語句を使って自己表現したりする力が十分ではない。</p>	<p>①簡単な英語による口頭導入を基本とする。文構造の導入では、教師の説明を少なくし、意味内容を類推する力を身に付けさせたい。</p> <p>②会話継続のコミュニケーション活動を実施し、応答、発話能力を高める。また、2文で答えるなどのルールを設定して会話練習させる。</p> <p>③デジタル教科書を使って、授業内や家庭で音読練習を十分させる。また、レッスン毎に音読テストを設けて意識させる。</p> <p>④授業内で小テストを行いスプリングや語彙の強化を図る。また、ワークブックを使用して、ターゲットセンテンスに慣れさせる。さらに、スピーチなどの活動を行い、ライティング活動につなげる指導の工夫を行いたい。</p>	
3年生	<p>①英語を聞き、絵や写真等を手がかりに意味を理解し、内容に関する質問に簡単な英語で答えることができる。より正確な英文で答えたり、即興で答えることに課題がある。</p> <p>②教師からの質問に対して簡単な応答はできる。2ターン程度の会話の継続、さらに話した英文を正しく書くことに苦手意識がある。</p> <p>③語句のスプリングを見て、意味を理解して正しく書ける語数を増やしていくことが課題である。</p>	<p>①簡単な英語による口頭導入を基本とする。文構造の導入では、教師の説明を少なくし、意味内容を類推する力を身に付けさせたい。</p> <p>②会話継続の活動を帯活動として行う時間を設定し、小テスト等で2文書き取りをする。</p> <p>③授業内でデジタル教科書を各自が使用し、単語や語句の意味と発音、スペルを自分のペースで学習する。また、新出語句を使用しての作文を毎時間2文作る。</p>	